

案内

日本看護技術学会 第12回学術集会

日時：9月14日(土)・15日(日)

会場：アクトシティ浜松(静岡県浜松市)

テーマ：美しく看護するための心・技・体
—看護技術の真価／進化をめざして

プログラム：キーセッション1「美しく看護するための心・技・体—看護技術の真価／進化をめざして」渡邊順子(聖隷クリストファー大学看護学部)／キーセッション2「能楽の美」角当行雄(梅若会)／キーセッション3「『都市型在宅医療の看護』患者を中心にチームを形成する」舩木良真(医療法人三つ葉代表)／キーセッション4「化粧療法—整容技術としての化粧」池山和幸(資生堂)／キーセッション5「『病院看護の真価と進化(仮)』パネル徹底討論」川嶋みどり(前日本赤十字看護大学教授)ほか／セミナー／ワークショップ／一般演題ほか

参加費：会員、非会員1万2000円、学生3000円(要学生証)

※学生は院生、看護師資格等を持っている研修学校生などを除く

申し込み：当日会場にて受付

問い合わせ先：事務局

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵3-12-7 あおいビル2F

株式会社オフィスエイクワン

TEL：052-930-6145

FAX：052-930-6146

E-mail：jsnas12@cs-oto.com

http://jsnas12.umin.jp/

案内

第18回日本糖尿病教育・ 看護学会学術集会

日時：9月22日(日)・23日(月・祝)

会場：パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

テーマ：次世代社会に向けた糖尿病看護—高齢社会と経済

プログラム：会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、特別企画、一般演題、交流集会

問い合わせ：運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18F 日本コンベンションサービス(株)コンベンション

事業本部医薬事業部

TEL：03-3508-1214

FAX：03-3508-1302

E-mail：jaden18@convention.co.jp

http://www2.convention.co.jp/jaden18

案内

日本長期急性期病床 (LTAC)研究会 第1回研究大会

日時：9月29日(日)

会場：東京研修センター(東京都新宿区)

テーマ：長期急性期病床(仮称：亜急性期病床)とは何か

プログラム：「基調講演」武久洋三(日本慢性期医療協会会長)／「指定演題」飯田達能(永生病院院長)、定光大海(大阪医療センター救命救急センター診療部長)、片岡善彦(徳島県病院局徳島県病院事業管理者)、赤星麻沙子(済生会熊本病院地域医療連携室室長代行)／「記念講演」原徳壽(厚生労働省医政局長)／「シンポジストプレゼンテーション」有賀徹(昭和大学医学部救急医学講座教授)、猪口雄二(全日本病院協会副会長)／シンポジウム「長期急性期病床(仮称：亜急性期病床)とは何か」原徳壽、有賀徹、猪口雄二、武久洋三／情報交換会

参加費：会員4000円、非会員5000円

※情報交換会7000円別途

申し込み：専用申込書を下記事務局までFAX

問い合わせ：事務局

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2F 日本慢性期医療協会内

TEL：03-3355-3120

FAX：03-3355-3122

案内

転倒予防医学研究会 第10回研究集会

日時：10月6日(日)9:00～17:00

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター&赤門総合研究棟(東京都文京区)

プログラム：特別講演「光の力」石井幹子(照明デザイナー)／ランチョンセミナーI「サルコペニアと転倒予防」小川純人(東京大学医学部附属病院老年病科講師、

外来医長)、II「転倒、骨折予防のために—治療から生活までシームレスなケアを」①「転倒予防を視野に入れた、骨粗鬆症治療」原田敦(国立長寿医療研究センター先端診療部副院長)、②「転倒骨折予防のための地域および在宅ケア」野村一俊(朝日野総合病院院長)／パネルディスカッション「現在そして将来、転倒予防はどこまでできるか—転倒予防10年のエビデンスとこれからの発展」①「病因、病態と転倒、ビタミンDと転倒」山本智章(愛広会新潟リハビリテーション病院院長)、②「運動主体プログラムの効果検証」金憲経(東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所研究副部長)、③「看護介入としての転倒予防の実践の効果検証」泉キヨ子(帝京大学医学部看護学教授)、④「転倒予防教室の効果検証」森田光生(慶友整形外科病院転倒骨折予防医学センター室長)、⑤「認知症高齢者と転倒」島田裕之(国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター自立支援システム開発室室長)／ワークショップ「転倒予防対策グッズの新たな展開」／シンポジウム「転倒事故はどこまで施設、現場の責任か」羽鳥研二(国立長寿医療研究センター病院長)、杉山良子(元武蔵野赤十字病院医療安全推進室専任リスクマネージャー)、川村治子(杏林大学保健学部教授)、小島剛(東京海上日動火災保険(株)企業火災新種保険サービス第一課)、望月浩一郎(虎ノ門協同法律事務所)、田辺功(株)ココノッツ取締役特別顧問)／ラウンドテーブルディスカッション「転倒予防と“気づく力”・“見守る目”」①「認知症者の転倒リスクと気づく力」高原昭(三木市立三木市民病院主任)、②「事故判例からみる転倒リスクマネジメント」望月浩一郎、③「施設における車椅子使用者と見守り」二瓶美里(東京大学大学院工学系研究科助教)、④「車椅子使用者の立場から見た転倒、転落の危険性(仮題)」成田真由美(パラリンピック金メダリスト)／ほか

定員：700名

参加費：会員6000円、非会員7000円

※学生2000円(当日受付のみ、要学生証提示)

申し込み：①参加者氏名(フリガナ)、②所属先／資格、③平成25年度会員／非会員の別、④参加票送付先の〒住所(自

宅／所属先を明記), TEL / FAX を明記し, 事務局まで E-mail, FAX, ハガキのいずれかで

申し込み・問い合わせ先: 事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 1-9-4
ちとせビル 3F

TEL & FAX: 03-3544-6112

E-mail: tentou@ellesnet.co.jp

<http://www.tentouyobou.jp/>

助成

聖ルカ・ライフサイエンス 研究所 平成 26 年度研究・海外 派遣助成

募集期間: 10 月 15 日まで

助成趣旨: ①医学および看護の臨床教育に関する研究, ②臨床疫学, 医療の質並びに病院管理に関する研究, 予防医学に関する研究, ④看護に関する研究

【研究助成】

助成対象: 所属の如何を問わず, 上記研究に従事する個人またはグループ

助成金額: 50 ~ 100 万円/件

募集件数: 20 件程度

【若手研究者の海外派遣助成】

助成対象: 所属の如何を問わず, 上記助成の趣旨に適う海外研修(平成 26 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31 日の間に, 期間 1 年以上の海外留学を開始)を希望する個人(平成 26 年 4 月 1 日現在満 40 歳未満の者で, 申請書提出時点で TOEFL 80 点以上, または TOEIC 700 点以上)

助成金額: 300 万円/人

募集件数: 3 件

問い合わせ: 聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL: 03-5550-4101 (内線 6380)

E-mail: sllsi@luke.or.jp

<https://sllsi.or.jp/subsidy>

案内

聖ルカ臨床教育研究 セミナー 2013

日時: 10 月 19 日(土) 10:00 ~ 16:20

会場: 聖路加看護大学 1 階 Alice C.S.T. John Memorial Hall(東京都中央区)

プログラム: 「過剰診断を防ぐー健康被

害を止める方法」Jenny Doust(ボンド大学臨床疫学センター教授)／「病院医療の質向上ークオリティインディケーターと JCI 受審」福井次矢(聖ルカ・ライフサイエンス研究所専務理事)／「病院と患者の安全ージョイントコミッションの活動(予定)」Mark R. Chassin(ジョイントコミッション最高責任者)／「根拠に基づく医療の質改善(予定)」Ashish K. Jha(ハーバード大学公衆衛生学教授)／「Q & A」J. Doust, M.R. Chassin, Ashish K. Jha, 福井次矢

※日本語同時通訳あり

定員: 300 名

参加費: 賛助会員無料, 一般 5000 円(昼食込)

申し込み: 専用申込用紙または同研究所ホームページより

問い合わせ: 聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL: 03-5550-4101

FAX: 03-5550-4114

E-mail: sllsi@luke.or.jp

<https://sllsi.or.jp/>

案内

日本リハビリテーション 看護学会 第 25 回学術大会

日時: 10 月 25 日(金)・26 日(土)

会場: 25 日: 東京ベイ幕張ホール(千葉市美浜区), 26 日: 幕張メッセ国際会議場(千葉市美浜区)

テーマ: 未来を拓く・つなぐ・紡ぐリハビリテーション看護

プログラム:

25 日: 総会 / 25 周年記念式典・表彰式 / 記念講演「リハビリテーション看護に期待するもの」坂本すが(日本看護協会会長)

26 日: パネルディスカッション「リハビリテーション看護の未来を拓く」増渕喜秋(ポールスターピラティス認定リハビリテーションインストラクター・理学療法士), 近藤真樹(国際コーチ連盟マスター認定コーチ, コミュニケーション・ファンデーション代表), 室岡陽子(皮膚排泄ケア認定看護師, 淑徳大学看護栄養学部成人看護学) / ワークショップ「リハビリ

テーションにおける倫理」酒井郁子(千葉大学大学院看護学研究科教授) / ランチョンセミナー / 一般演題発表 / 体験セッション 1「目標へ向けた支援ーコーチング」近藤真樹, 体験セッション 2「身体の使い方を再学習するーピラティス」増渕喜秋

参加費:

(~ 9/10) 会員 6000 円, 非会員 1 万円

(当日) 会員 7000 円, 非会員 1 万 1000 円

学生 3000 円, 懇親会 7000 円別途

申し込み: ホームページより事前参加登録

締切: 9 月 10 日(火)

問い合わせ: 事務局(塚原)

〒266-0005 千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL: 043-291-1831

E-mail: jma25@chiba-reha.jp

<http://rehanurse25.com/index.html>

案内

第 15 回 看護国際フォーラム

日時: 10 月 26 日(土) 12:30 ~ 17:00

会場: 別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市)

テーマ: 在宅ケアの推進とその方略ー臨床・退院支援・地域における看護の連携
プログラム: 「地域ケアの推進と評価に向けての方略」インスク・リー(韓国ソウル大学校看護大学地域看護学科教授) / 「ヘルスプロモーションに向けた地域社会との協働」カレン・フランシス(オーストラリアチャールズ・スタート大学看護・助産・先住民衛生学部学部長, 教授) / 療養場所の円滑な移行に向けた退院支援方策の開発とその評価」永田智子(東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野准教授) / 総合討論

定員: 300 名

参加費: 一般 2000 円, 学生 500 円

※同時通訳用レシーバー 1000 円別途

申し込み: E-mail または返信用住所を書いた往復はがきに, 所属, 氏名, 同時通訳用レシーバー使用の有無を明記の上, 下記まで

締切: 10 月 11 日(金)

問い合わせ: 事務局

〒870-1201 大分市大字廻栖野 2944-9

大分県立看護科学大学内

E-mail: forum2013@oita-nhs.ac.jp
http://www.oita-nhs.ac.jp/inter_exchange/cat8_top/cat101/15.html

案内

日本訪問看護財団 集中セミナー

(5 研修同時開催, 1 研修選択)

日時: 11 月 9 日(土) 10:00 ~ 16:00

会場: 住友不動産新宿グランドタワー
(東京都新宿区)

プログラム:

①訪問看護等在宅ケア研究セミナー

「訪問看護研究テーマの見つけ方, 進め方, 発表の方法など」『2012 年度日本訪問看護財団研究助成採択者の発表および意見交換』山本則子(東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻成人看護学分野教授)

対象: 訪問看護等在宅ケアの研究に取り組みたい訪問看護師等

②人工呼吸器等装着者への呼吸ケア

「在宅で使用する人工呼吸器等医療機器の最新情報」『在宅医療機器を用いたデモンストレーション』『呼吸ケアの実際と多職種協働』長濱あかし(同財団立刀根山訪問看護ステーション所長)

対象: 訪問看護師, 通所系サービスの看護師, 理学療法士, 作業療法士等

③在宅栄養ケア「口から食べる」支援
「在宅栄養サポートチームの活動・摂食嚥下訓練(演習を含む)」中山潤利(日本大学歯学部摂食機能療法学講座助教), 山口朱見(千葉健愛会あおぞら診療所歯科衛生士)

対象: 訪問看護師, 介護支援専門員, 訪問介護員, 通所系サービスの看護師・介護職員等

④認知症の在宅ケア—早期発見・早期治療で安心して暮らすために

「認知症に関する施策の動向」『認知症の病態生理と鑑別診断, 治療』『認知症のアセスメントとケアの実際』木之下徹(こだまクリニック院長), 小澤ミサヲ(グループホームいずみ施設長・看護師)

対象: 訪問看護師, 訪問介護員, グループホーム, 通所サービス等在宅ケア従事者等

⑤認定看護師のためのフォローアップセ

ミナー

「認定看護師資格取得後の実践・指導・相談の実際」『認定看護師間の連携と協働・グループディスカッション』小野朱美(訪問看護認定看護師, 湯のまち訪問看護ステーション所長), 小川綾乃(訪問看護認定看護師, ソフィア訪問看護ステーション成城所長), 平原優美(同財団立あすか山訪問看護ステーション統括所長, 訪問看護認定看護師, 在宅看護専門看護師)

対象: 認定看護師(領域は問はず)

※日本財団助成事業, 認定更新審査 4 ポイント取得対象セミナー

受講料: 会員 6000 円, 非会員 1 万円

詳細: ホームページ参照

問い合わせ: 日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5F

TEL: 03-5778-7005 (研修担当)

FAX: 03-5778-7009

http://www.jvnfor.jp

案内

第 10 回日本周産期 メンタルヘルス研究会 学術集会

日時:

学術集会: 11 月 9 日(土) 10:00 ~ 17:00

研修会: 11 月 10 日(日) 9:30 ~ 11:30

会場: 日本赤十字看護大学 201 講義室
(東京都渋谷区)

テーマ: 現代女性の妊娠から子育てとメンタルヘルス

プログラム:

11 月 9 日: 一般演題/特別講演「就労女性のこころとからだ」荒木葉子(荒木労働衛生コンサルタント事務所所長)/教育講演「女性の妊孕性(にんようせい)と不妊治療の現状と問題点」辰巳賢一(梅ヶ丘産婦人科院長)/シンポジウム「リプロダクティブエイジ女性のメンタルヘルス支援を考える」①「妊娠・結婚を考える女性のメンタルヘルス」佐々木司(東京大学大学院教育学研究科健康教育学分野教授), ②「高年妊娠女性たちの声に耳を傾けて」河合蘭(出産ジャーナリスト), ③「妊娠・出産期女性のメンタルヘルスと支援」永田雅子(名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター准教授), ④「産後ケアセ

ンター桜新町の利用者の背景とケア」萩原玲子(武蔵野大学附属産後ケアセンター桜新町センター長)

※一般演題(締切 9 月末)募集中, 詳細は HP

11 月 10 日: 「若い女性/妊娠期にある女性の摂食障害」西園マールハ(白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授)

参加費:

〈学術集会〉会員 3000 円, 臨時会員 4000 円, 学部・大学院生 1000 円

〈研修会〉会員 3000 円, 臨時会員 4000 円

申し込み: 事務局(安川通子)

FAX: 059-231-9049

E-mail: mental-3@hac.mie-u.ac.jp

http://pmh.jp/index.html

案内

訪問看護サミット 2013

日時: 11 月 10 日(日) 10:00 ~ 16:00

会場: 住友不動産新宿グランドタワーベルサール 新宿グランドホール(東京都新宿区)

テーマ: 創造! 2025 年の訪問看護—語ろう訪問看護のビジョン

プログラム: 講演「2025 年の医療・看護・介護を考える」西村周三(国立社会保障・人口問題研究所所長), 「地域包括ケアの実現のために—複合型サービスと訪問看護」村田昌子(茨城県看護協会会長)/リレートーク「ホームホスピスの未来」木戸恵子(訪問看護ステーションはーと代表取締役), 「介護ロボットの未来」宮永敬市(厚生労働省老健局新興課福祉用具・住宅改修指導官, 介護支援専門員), 「基幹型訪問看護ステーション(仮称)構想」齋藤訓子(日本看護協会常任理事), 「任せてください! 認知症ケア」宮崎和加子(全国訪問看護事業協会事務局長)/「意見交換」上野桂子(全国訪問看護事業協会常務理事), 佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事)

詳細: ホームページ参照

問い合わせ: 日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5F

TEL: 03-5778-7005 (研修担当)

FAX: 03-5778-7009

http://www.jvnfor.jp

案内

第4回感染管理 看護研究会

日時: 11月16日(土) 9:00～16:35
会場: 三重県立看護大学(三重県津市)
メインテーマ: 看護でつなげてひろげていく感染管理
プログラム: 教育講演「感染管理を担う看護職に求められる連携力と看護力」田中彰子(山梨県立大学)／事例セッション「感染管理看護におけるチーム医療を見つめ直す」ファシリテーター・脇坂浩(三重県立看護大学), 石井真(中部大学), 小菅育恵(三重県立看護大学), 杉野健士郎(三重県立看護大学), 森山美香(三重県立看護大学), 野崎希(三重県立看護大学)
参加費: 会員 2000 円, 非会員 3000 円
事務局: 三重県立看護大学地域交流センター 認定看護師教育課程「感染管理」事務室
 〒514-0116 三重県津市夢が丘1-1-1
 TEL & FAX: 059-233-5626
 E-mail: kansen@mcn.ac.jp

案内

第3回 日本リハビリテーション 栄養研究会学術集会

日時: 11月30日(土)・12月1日(日)
会場: アクロス福岡(福岡県福岡市)
テーマ: リハビリテーション栄養の周知から実践へ
参加費:
 (～10/17) 会員 7000 円, 非会員 8000 円
 (当日) 会員・非会員とも 1 万円
問い合わせ: 事務局
 E-mail: jarn.fukuoka@gmail.com
<http://sites.google.com/site/rehabnutrition/>

案内

第19回日本精神保健 社会学会学術大会・総会

日時: 12月1日(日) 10:00～16:30
会場: 筑波大学東京キャンパス(東京都文京区)
テーマ: 見通しの立たない時代のメン

タルヘルス

プログラム: 一般演題／学会総会／シンポジウム「見通しの立たない時代のメンタルヘルス—自己探求と愛情の絆の時代へ」栗原壯一郎(オリエンタル労働衛生協会メンタルヘルスマネジメント・サポートセンター所長), 武藤清栄(東京メンタルヘルス所長), 殿山希(筑波技術大学保健科学部保健学科鍼灸学専攻准教授)
参加費: 一般 4000 円, 会員 3000 円, 学生 2000 円(要学生証提示)
 ※シンポジウムのみ参加 2000 円
 ※懇親会 4000 円別途
問い合わせ・申し込み: 事務局
 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-39-8 ローズベイ池袋ビル3F TMA内
 TEL: 03-3986-3220
 FAX: 03-3986-3240
 E-mail: info@jamhs.org
<http://www.jamhs.org/>

案内

第33回日本看護科学 学会学術集会

日時: 12月6日(金)・7日(土)
会場: 大阪国際会議場(大阪府大阪市)
プログラム: 特別講演「食文化にみる知と技の創造」村田吉弘(京都料亭「菊乃井」)／教育講演「看護の専門性の深化が社会に及ぼす影響」Patricia Robinson(St. Georges Hospital University of London)／シンポジウム「高度実践看護者の力で医療の質が変わる」高橋奈美(名古屋第二赤十字病院), 大内紗也子(京都大学医学附属病院), 宇佐美しおり(熊本大学大学院生命科学研究部)ほか
参加申し込み締切: 10月11日(金)
問い合わせ: 大阪医科大学看護学部(松尾)
 E-mail: jmatsuo@art.osaka-med.ac.jp
<http://www.c-linkage.co.jp/jans33/>

案内

がん看護セミナー 第14回 HOLOS 国際看護セミナー 2013

日時: 12月8日(日) 10:00～17:00
会場: 笹川記念会館・国際ホール(東京都港区)

テーマ: アメリカの「エンドオブライフ」におけるがん緩和ケア

プログラム: 「アメリカのエンドオブライフにおける緩和ケア」「アメリカにおけるナース・プラクティショナー／高度実践看護師—現状と課題」マリアン・グラント(メリーランド大学看護学部准教授兼同大学医療センター緩和ケアコンサルタントサービス勤務, ELNEC—Core Member)／「がん患者と向き合う看護師のつらさと癒し」田村恵子(淀川キリスト教病院主任看護課長)／「がん緩和ケアの看護実践—事例検討」マリアン・グラント, 田村恵子, 梅田恵(緩和ケアパートナーズ, がん看護専門看護師), 田代真理(緑の森さくらクリニック, がん看護専門看護師), 桑田美代子(青梅慶友病院, 老人看護専門看護師)／質疑応答
 ※同時通訳付
参加費: 1 万 5000 円(昼食用意あり)
申し込み: 専用申込用紙を FAX, またはホームページ経由
問い合わせ: 事務局
 〒120-0005 東京都足立区綾瀬2-44-3-307
 TEL: 03-3838-5262
 FAX: 03-3838-5266
 E-mail: takahashi@holos-universe.com
<http://www.holos-universe.com>